

東和便り



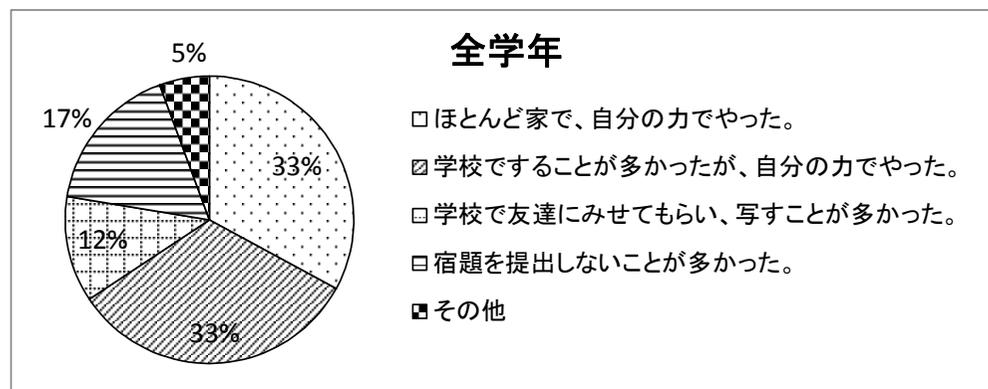
第37号 宿題アンケート結果号
2015.1.15 東和中学校

3学期がスタートしました。始業式で、3つのお願いをしました。1つ目は、「1年間の締めくくりとして自分の力をつける」、2つ目は、「あいさつをする」、3つ目は、「読書をする」でした。

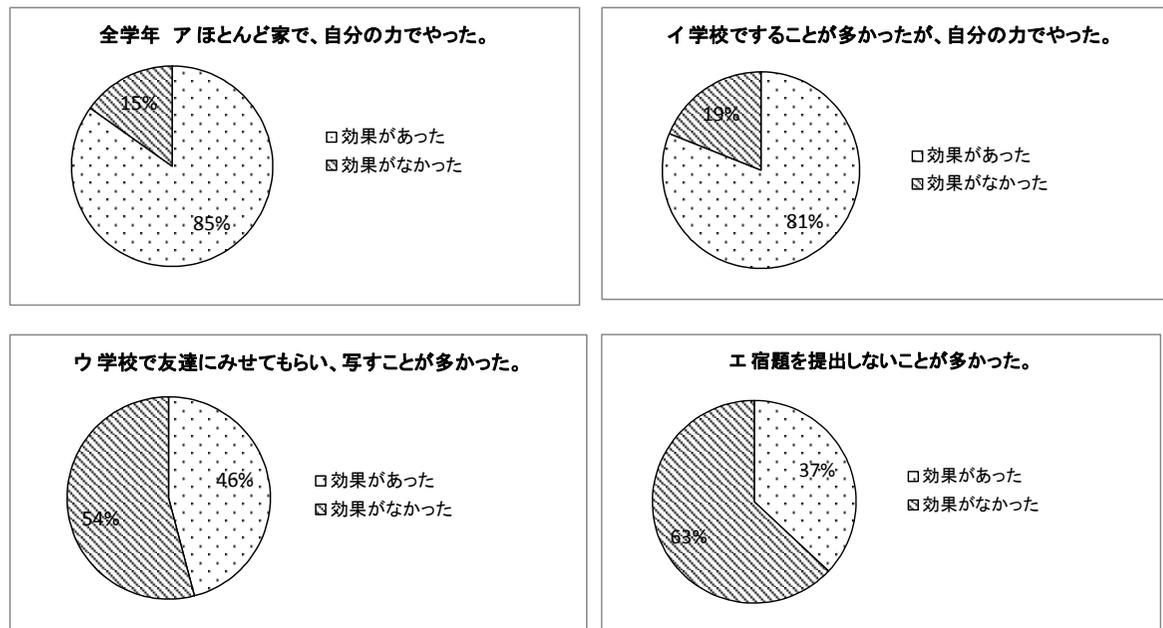
特に、「自分の力」をつけるについては、学力の向上があげられます。本校では、12月末に「宿題アンケート」を実施しました。本校では、毎日、ローテーションにより5教科の宿題を渡して取り組ませています。その宿題の取組状況と効果についてアンケート結果(一部)を掲載します。

自分自身の取組方をふり返るとともに、自分の力をより高く上げるための参考としてください。

○宿題の取組状況



○宿題の取組方と効果の相関関係

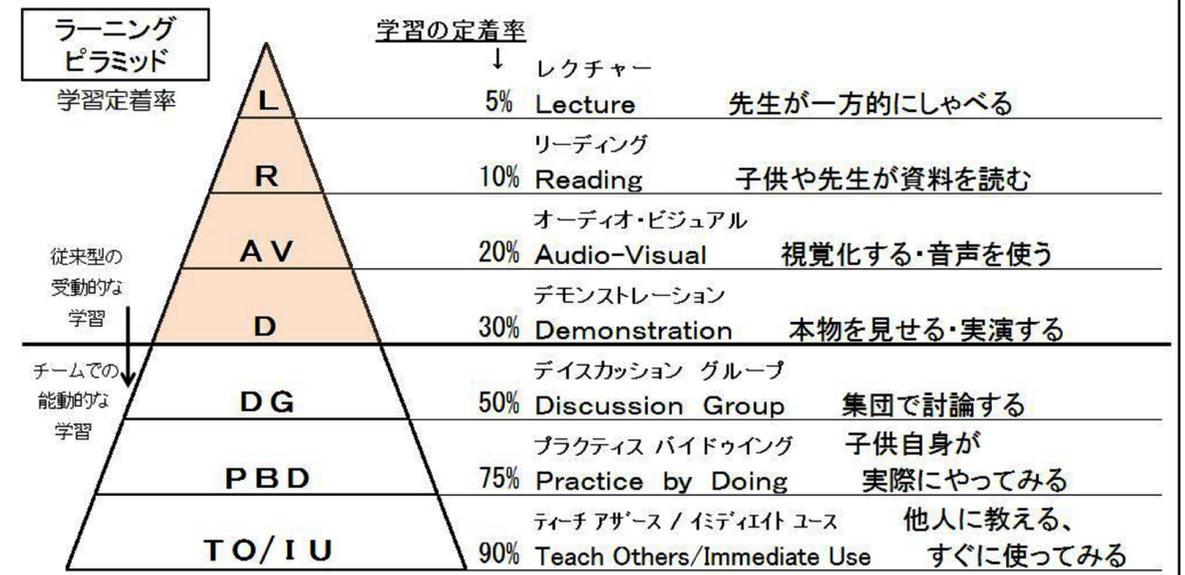


※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！

保護者の皆様へ 家庭学習の一工夫 課題を教え合う・聴き合う ラーニング・ピラミッド

効率的に学習したいなどと思っても、なかなかそういうわけにはいきません。しかし、学習法と定着率との関係であれば、効果的な学習法というのは調査などで研究されています。

アメリカのNTL Institute(国立訓練研究所)が過去に発表した「学びのピラミッド(Learning Pyramid)」では、講義を聴くだけでは5%の定着率しかないのに、視聴覚教材の利用やディスカッションなどで定着率が上がり、「他人に教える」は、なんと90%になると書かれています。



家庭学習中に親が子に「〇〇って何?」とか「どうして〇〇なの?」と問いかけることは、学力の定着に非常に意味があることとなります。定着度の高い学習法は、他人との関わりが必要なのです。

学校では、いろいろな手法を組み合わせ、学習活動がおこなわれています。やはり講義的な授業が基本となっています。その上で、視聴覚教材、実験や実習、ペア学習、グループ学習などを活用して授業が展開していきます。しかし、残念ながら定着率は100%にはなりません。

本校では、3学期から週末の宿題に、過去に出題された全国学力・学習状況調査(国語・数学)を課題として取り組むことができますようにします。家庭で、保護者の方から「この問題、どうしたら解けるの?」「わかるように教えて」などという関わりがあったり、友達同士で教え合ったり、聴き合ったりしながら取り組めば、学習定着度も高まります。

家庭学習(宿題の取組方)の一工夫で学力アップをさせましょう。

【関連サイト】 [New The Learning Pyramid - Stephen's Lighthouse](http://www.newthelearningpyramid.com/)

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう！